

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立古江小学校）

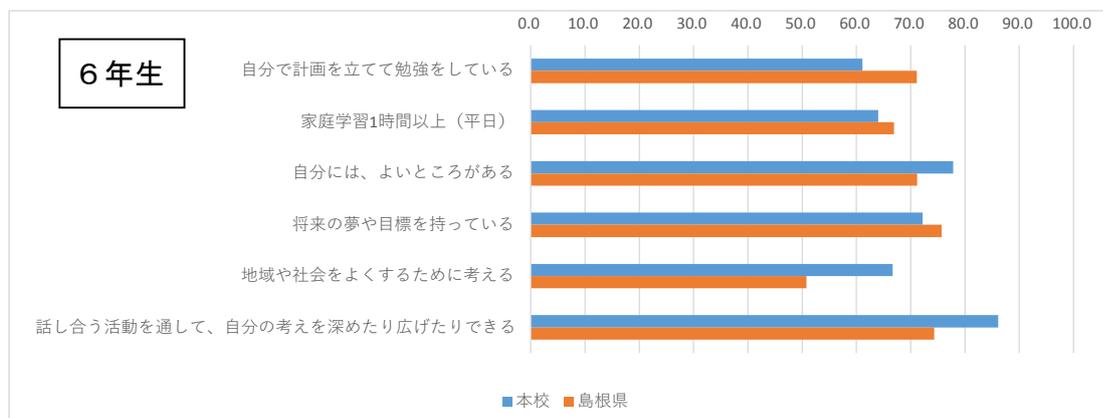
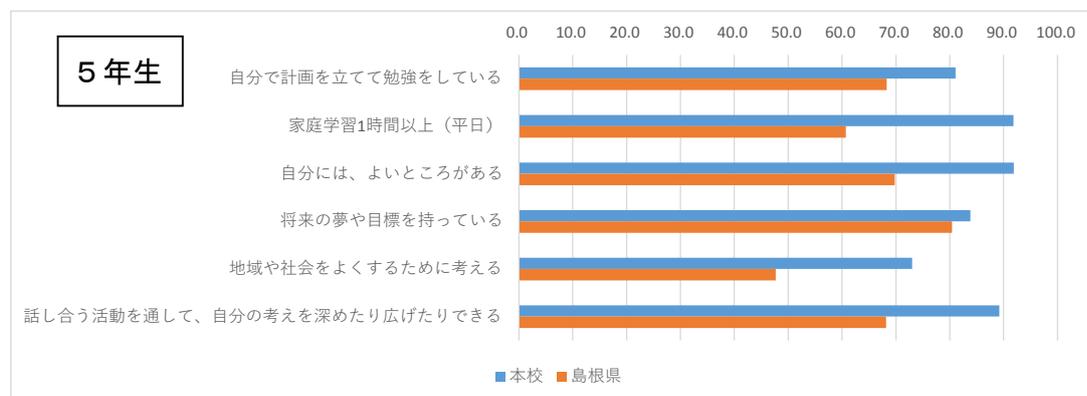
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年国語	<p>○教科全体の平均正答率は、県の平均正答率を3ポイント上回り、特に「漢字を書く」ことは18ポイント上回った。</p> <p>○「段落の役割を理解し、段落構成を意識して記述する」についても、県の平均正答率を大きく上回った。</p> <p>●一方「漢字を読む」ことは、県の平均正答率を4ポイント下回り、基礎基本の充実をさらに図る必要がある。</p>	6年国語	<p>○県の平均正答率を大きく上回った事項は、「指定された長さで文章を書いたり、段落の役割について理解し、段落構成に留意して書いたりする」である。</p> <p>●「説明文を読み、文章全体の構成や内容を捉えたり、読み取った情報を整理したりする」に課題がある。図書館教育と連携を図ったり、総合的な学習の時間の発表などを適宜取り入れたりするなどの取組が不可欠である。</p>
5年算数	<p>○基礎・活用とも10ポイント以上県の平均正答率を上回り成果が上がっている。</p> <p>○「図形」の体積や角度を求める、「数と計算」の小数や分数の加減計算をする力が十分身についている。</p> <p>●単位量あたりの大きさを求めること、2つの数量関係を表した表を見て、比例関係にあるものを選ぶことは、県の平均正答率を上回っているが、理解を深め、より一層の定着を図る必要がある。</p>	6年算数	<p>○図形の領域について、概ね県の平均正答率を上回り、特に円の面積を求めたり、線対称の図形を作図したりする力が身についている。</p> <p>●分数のかけ算・わり算はできるが、分数のわり算を用いた文章問題から関係を示す図や式を選択することに課題がある。</p> <p>●比と比の値について、等しい比を見つけたり、比を使って全体の量から一方の量を求めたりすることにも課題がある。</p>

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年	<p>○全国学力・学習状況調査と同様の質問項目について、全て肯定的解答が上回っている。自己肯定感が高く、将来を意識し、日々意欲的に生活していることが伺える。</p> <p>●「朝食は、家の人と一緒に食べている」がやや県の結果を下回っているが、一方で「夕食は、家の人と一緒に食べている」が100%であり、深刻な状態ではないと考える。</p>	6年	<p>○基本的な生活習慣は定着していて、「学校での出来事を家の人に話している」「地域の行事に参加している」など肯定的解答が高く、家族や地域との関係性が良好である。</p> <p>●「自分で計画を立てて、勉強している」「家では、勉強する場所を決めている」の項目に課題がある。中学校進学に向け、学習に主体的に取り組む姿勢を養う必要がある。</p>
----	---	----	---

(3) 意識調査（教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています）



【受検者数】 5年生 38名 6年生 36名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。